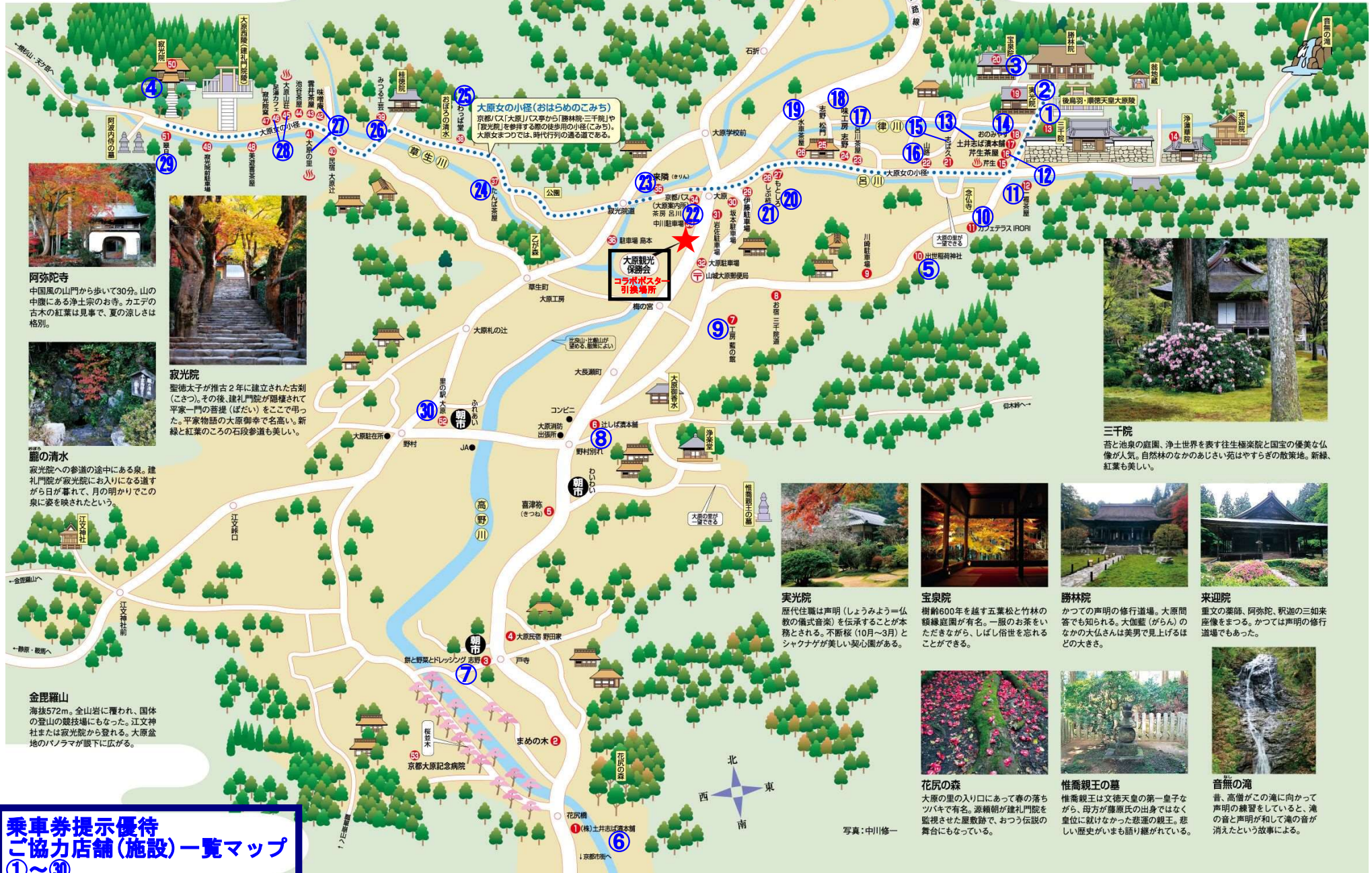


大原の里を歩こう



阿弥陀寺
中国風の山門から歩いて30分。山の中腹にある浄土宗のお寺。カエデの古木の紅葉は見事で、夏の涼しさは格別。



寂光院
聖徳太子が推古2年に建立された古刹(こさつ)。その後、建礼門院が隠棲されて平家一門の菩提(ぼだい)をここで申った。平家物語の大原御幸で名高い。新緑と紅葉のころの石段参道も美しい。



麗の清水
寂光院への参道の途中にある泉。建礼門院が寂光院にお入りになる道すがら日が暮れて、月の明かりでこの泉に姿を映されたという。



金毘羅山
海拔572m。全山岩に覆われ、国体の登山の競技場にもなった。江文神社または寂光院から登れる。大原盆地のパノラマが眼下に広がる。



三千院
吉と池泉の庭園、浄土世界を表す往生極楽院と国宝の優美な仏像が人気。自然林のなかのあじさい苑はやすらぎの散策地。新緑、紅葉も美しい。



実光院
歴代住職は声明(しょうみょう＝仏教の儀式音楽)を伝承することが本務とされる。不断桜(10月～3月)とシャクナゲが美しい観心園がある。



宝泉院
樹齢600年を越す五葉松と竹林の頓挫庭園が有名。一服のお茶をいただきながら、しばし俗世を忘れることができる。



勝林院
かつての声明の修行道場。大原問答でも知られる。大伽藍(がらん)のなかの大仏さんは美男で見上げるほどの大きさ。



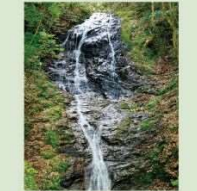
来迎院
重文の薬師、阿弥陀、釈迦の三如来像をまつ。かつては声明の修行道場でもあった。



花尻の森
大原の里の入り口にあつて春の落ちツバキで有名。源頼朝が建礼門院を監視させた屋敷跡で、おつう伝説の舞台にもなっている。



惟喬親王の墓
惟喬親王は文徳天皇の第一皇子ながら、母方が藤原氏の出身ではなく皇位に就けなかった悲運の親王。悲しい歴史がいまも語り継がれている。



音無の滝
昔、高僧がこの滝に向かって声明の練習をしていると、滝の音と声明が和して滝の音が消えたという故事による。

**乗車券提示優待
ご協力店舗(施設)一覧マップ**
①～⑩

写真：中川修一